



いせしん

伊仙町議会だより

第28号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷



将来的に、西部方面の飲料水として期待される上成川上流。

(※上質な水を求める為、全議員で新たな原水探しに2日に渡って調査を行いました。)

目 次

- 伊仙町一般会計歳入歳出決算他特別委員会委員長報告…………… P 2
- 決算報告…………… P 3
- 第3回定例会議決結果及び陳情関連採決結果…………… P 4
- 障がい児に関する勉強会を開催・水問題による要望書を提出…………… P 5
- 水問題調査及び農業生産所得向上調査に関する委員長報告…………… P 6～9
- 地域情報通信基盤整備推進交付金事業・交通事故防止に関する決議 P 10
- 伊仙町退職教職員会による基地移設反対決議・議会のうごき…………… P 11
- 第8回こども議会・編集後記…………… P 12

平成21年度 伊仙町一般会計歳入歳出 決算他7特別会計決算審査 特別委員会委員長報告

当、決算審査特別委員会に付託されました、平成21年度伊仙町一般会計歳入歳出決算他7特別会計歳入歳出決算について、去る9月8日に決算審査特別委員会を開き、審査した結果についてご報告申し上げます。

まず開会直後に執行部より決算書の内容について詳細説明を求め、それを受けて各委員より質疑があり、財政難の中にあつて予算が有効かつ適正に運用されているか慎重審議をいたしました。

一般会計においては、不納欠損額について質疑がありました。滞納対策室を設けて取り組んでおり、改善されつつあるとのことでした。

さらに、分担金、使用料、負担金、保育料等においても、税務課の税金徴収に習って、全ての課で、同じ対応（滞納処分等）をし、水道使用料についても給水停止を実施する等、町民のみならず不公平にならないように最善の努力を求めた。

このことに対し、公務員の責任は、町民のしあわせを求めることであり、法的措置をとること等は、町全体のしあわせのためだと理解が得られるよう、今後も全力で取り組んでいくとの答弁がありました。

また、公営住宅の使用料滞納者については、退去命令の準備をしているとの答弁があつた。

高齢者等肉用牛導入基金、肉用牛導入基金の一本化については、12月議会に提案するとのことであり、貸付を受けている農家の調査が必要で、その後、廃止条例案を提案していきたいとのことであつた。

ほーらい館については、各種団体へ招待券と入会パンフレット等でお願いをし、会員増を図っていく。

今後は、民間移管していかなければならないとの考えも明らかにした。あわせて、インスタクターの研修を実施し、優秀なインスタクターの確保に努めたいとの答弁であつた。

ほーらい館会計について

は、職員の人件費も計上し、町民に分かりやすい会計にできないかとの提案もありました。

さらに、百菜の運営状況を懸念する質疑も出され、組合に対し、最善の努力を求めた。

工事の工期について、工期を守ることはもちろん、地域住民に迷惑のかららないように徹底した指導をするようにとの提案等もあり、質疑討論を終結しました。

以上、採決の結果、

平成21年度 伊仙町一般会計歳入歳出決算、

平成21年度 伊仙町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

平成21年度 伊仙町老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算

平成21年度 伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算

平成21年度 伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

平成21年度 徳之島交流ひ

ろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算
平成21年度 伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算
平成21年度 伊仙町上水道事業特別会計歳入歳出決算
については、認定することと決定いたしました。

以上で委員長報告を終わります。
(特別委員長 美島 盛秀)



町の財源となる納税意識を高める為に、基幹作物のさとうきびの植付けを行う伊仙町議会。

平成21年度 一般会計歳入歳出決算対前年比較

(歳入)

(単位：千円) (歳出)

(単位：千円)

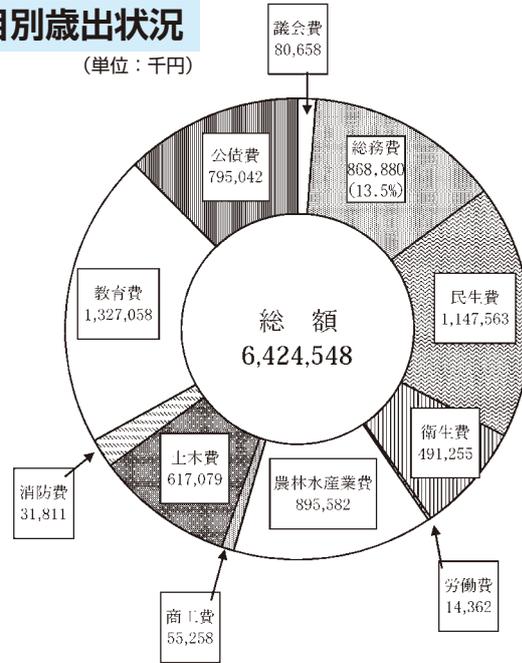
| 款 | 平成21年度決算額 (A) | | 平成20年度決算額 (A) | | 比較 (A)-(B)= (C) | | 伸率 (C)/(B) % | 款 | 平成21年度決算額 (A) | | 平成20年度決算額 (A) | | 比較 (A)-(B)= (C) | | 伸率 (C)/(B) % |
|----------------|---------------|-------|---------------|-------|-----------------|--------|---------------|-----------|---------------|-----------|---------------|-----------|-----------------|------|--------------|
| | 金額 | 構成比 % | 金額 | 構成比 % | 金額 | 伸率 % | | | 金額 | 構成比 % | 金額 | 構成比 % | 金額 | 伸率 % | |
| 1 町 税 | 292,536 | 4.4 | 292,189 | 5.6 | 347 | 0.1 | 1 議 会 費 | 80,658 | 1.3 | 78,347 | 1.5 | 2,311 | 2.9 | | |
| 2 地方譲与税 | 84,633 | 1.3 | 90,488 | 1.7 | △ 5,855 | △ 6.5 | 2 総 務 費 | 868,880 | 13.5 | 670,532 | 12.9 | 198,348 | 29.6 | | |
| 3 利子割交付金 | 1,002 | 0.0 | 1,332 | 0.0 | △ 330 | △ 24.8 | 3 民 生 費 | 1,147,563 | 17.9 | 1,152,187 | 22.2 | △ 4,624 | △ 0.4 | | |
| 4 配当割交付金 | 158 | 0.0 | 204 | 0.0 | △ 46 | △ 22.5 | 4 衛 生 費 | 491,255 | 7.6 | 422,599 | 8.2 | 68,656 | 16.2 | | |
| 5 株式等譲渡所得割交付金 | 60 | 0.0 | 46 | 0.0 | 14 | 30.4 | 5 労 働 費 | 14,362 | 0.2 | 316 | 0.0 | 14,046 | | | |
| 6 地方消費税交付金 | 49,306 | 0.7 | 47,811 | 0.9 | 1,495 | 3.1 | 6 農 林 水 産 業 費 | 895,582 | 13.9 | 476,659 | 9.2 | 418,923 | 87.9 | | |
| 7 自動車取得税交付金 | 14,170 | 0.2 | 22,996 | 0.4 | △ 8,826 | △ 38.4 | 7 商 工 費 | 55,258 | 0.9 | 61,405 | 1.2 | △ 6,147 | △ 10.0 | | |
| 8 地方特例交付金 | 10,251 | 0.2 | 5,803 | 0.1 | 4,448 | 76.7 | 8 土 木 費 | 617,079 | 9.6 | 922,328 | 17.8 | △ 305,249 | △ 33.1 | | |
| 9 地方交付税 | 2,915,184 | 44.0 | 2,838,781 | 54.0 | 76,403 | 2.7 | 9 消 防 費 | 131,811 | 2.1 | 134,717 | 2.6 | △ 2,906 | △ 2.2 | | |
| 10 交通安全対策特別交付金 | 1,855 | 0.0 | 1,753 | 0.0 | 102 | 5.8 | 10 教 育 費 | 1,327,058 | 20.7 | 362,052 | 7.0 | 965,006 | 266.5 | | |
| 11 分担金及び負担金 | 52,503 | 0.8 | 51,237 | 1.0 | 1,266 | 2.5 | 11 災 害 復 旧 費 | 0 | 0.0 | 7,807 | 0.2 | △ 7,807 | △ 100.0 | | |
| 12 使用料及び手数料 | 46,121 | 0.7 | 55,953 | 1.1 | △ 9,832 | △ 17.6 | 12 公 債 費 | 795,042 | 12.4 | 895,273 | 17.3 | △ 100,231 | △ 11.2 | | |
| 13 国庫支出金 | 1,370,718 | 20.7 | 542,265 | 10.3 | 828,453 | 152.8 | 13 諸 支 出 金 | | | | | | | | |
| 14 県 支 出 金 | 605,351 | 9.1 | 245,047 | 4.7 | 360,304 | 147.0 | 14 予 備 費 | | | | | | | | |
| 15 財 産 収 入 | 15,064 | 0.2 | 9,369 | 0.2 | 5,695 | 60.8 | 歳 出 合 計 | 6,424,548 | 100.0 | 5,184,222 | 100.0 | 1,240,326 | 23.9 | | |
| 16 寄 附 金 | 3,531 | 0.1 | 5,982 | 0.1 | △ 2,451 | △ 41.0 | | | | | | | | | |
| 17 繰 入 金 | 5,255 | 0.1 | 0 | 0.0 | 5,255 | | | | | | | | | | |
| 18 繰 越 金 | 19,609 | 0.3 | 28,707 | 0.5 | △ 9,098 | △ 31.7 | | | | | | | | | |
| 19 諸 収 入 | 70,689 | 1.1 | 60,802 | 1.2 | 9,887 | 16.3 | | | | | | | | | |
| 20 町 債 | 1,071,262 | 16.2 | 953,066 | 18.1 | 118,196 | 12.4 | | | | | | | | | |
| 歳 入 合 計 | 6,629,258 | 100.0 | 5,253,831 | 100.0 | 1,375,427 | 26.2 | | | | | | | | | |

(注)各款ごとの決算額は、決算統計上の分類方法により決算書の額と一致しないものがある。

平成21年度 一般会計決算報告

科目別歳出状況

(単位：千円)

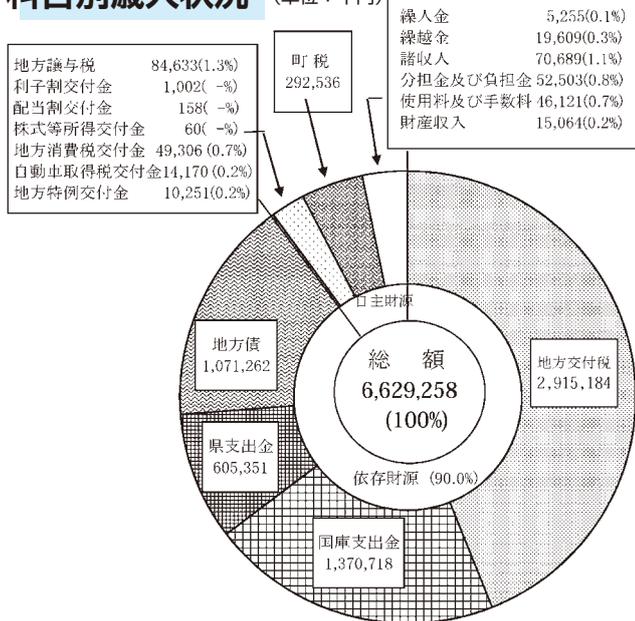


《一般会計決算まとめ》

歳入歳出差引残高 **204,711 (千円)**
 財政調整基金積立金 **52,480 (千円)**
 翌年度繰越額 **104,711 (千円)**

科目別歳入状況

(単位：千円)



平成21年度 各特別会計歳入歳出決算額 (単位：千円)

| 会計別 | 予算現額 | 決算額 | | 歳入歳出 差引残高 | 執行率 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|--------------|-------|-------|
| | | 収入済額 | 支出済額 | | 歳入 | 歳出 |
| 国民健康保険 | 1,400,775 | 1,320,322 | 1,400,747 | △ 80,425 | 94.3 | 100.0 |
| 老人保健 | 5,359 | 5,362 | 5,355 | 7 | 100.0 | 99.9 |
| 介護保険 | 877,723 | 879,853 | 877,710 | 2,143 | 100.0 | 100.0 |
| 後期高齢者保健 | 147,179 | 148,007 | 147,173 | 834 | 100.0 | 100.0 |
| ほーらい館 | 77,578 | 80,912 | 77,458 | 3,454 | 104.3 | 99.8 |
| 簡易水道 | 339,235 | 327,891 | 325,621 | 2,270 | 96.7 | 96.0 |
| 上水道 | 88,133 | 88,135 | 82,577 | 5,558 | 100.0 | 93.7 |
| 合 計 | 2,935,982 | 2,850,482 | 2,916,641 | △ 66,159 | 97.1 | 99.3 |

平成22年 第3回伊仙町議会定例会 全議案(会期9/7~17)

| 番 号 | 議 案 等 | 採決結果 |
|--------|-----------------------------------|------|
| 報告第3号 | 平成21年度健全化判断比率 | 可 決 |
| 報告第4号 | 平成21年度資金不足比率 | 可 決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補の推薦につき意見を求める | 原案可決 |
| 議案第35号 | 伊仙町ごみのポイ捨て及び飼養動物等のふん害の防止に関する条例の制定 | 原案可決 |
| 議案第36号 | 町道の一部変更 | 可 決 |
| 議案第37号 | 伊仙町過疎地域自立促進計画の策定 | 原案可決 |
| 議案第38号 | 平成22年度伊仙町一般会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第39号 | 平成22年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第40号 | 平成22年度伊仙町老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 |
| 議案第41号 | 平成22年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 議案第42号 | 平成22年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 |
| 認定第1号 | 平成21年度伊仙町一般会計歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第2号 | 平成21年度伊仙町国民健康保険歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第3号 | 平成21年度伊仙町老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第4号 | 平成21年度伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第5号 | 平成21年度伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第6号 | 平成21年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第7号 | 平成21年度伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算 | 認 定 |
| 認定第8号 | 平成21年度伊仙町上水道事業会計歳入歳出決算 | 認 定 |

平成22年 第3回伊仙町議会定例会 陳情・発議一覧

| 番 号 | 件 名 | 採決結果 |
|--------|--|---------|
| 陳情第14号 | 犬田布中学校「新校舎完成後のグラウンド整備」についての要望書 | 採 択 |
| 陳情第15号 | 「30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充」に係わる意見書の採択要請について | 継 続 審 査 |
| 発議第9号 | 伊仙町交通事故防止に関する決議 | 可 決 |
| 発議第10号 | 臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書について | 可 決 |

障がい児に関する勉強会を開催

8月20日(金)に伊仙町議会本会議場において、伊仙町議会主催による、「障がい児に関する勉強会」を開催致しました。勉強会開催の経緯として、昨年より本町議会をはじめとする三町議会へ、「障がい児をもつ親の会」から徳之島高等学校に養護学校分教室を設置する旨の陳情が提出されていたことを理由に、勉強会を開催致しました。

勉強会当日には、町長及び関係各課長や親の会を含む徳之島療育



島を挙げて、障がい児にも希望をもって生きていける地域づくりが急務である。

研究会の関係者、教育現場に携わってこられた伊仙町退職教職員会の関係者が出席し、現状と今後の課題について意見交換がなされました。その中で、保護者の方から切実な願いを涙ながらに訴える一幕もあり、この問題に対して全議員並びに、関係者がこれから積極的に取り組んでいくことで意見が一致しました。

(障がい児を持つ家庭の主な現状)

- ・「島内に養護学校がない為、親子が離ればなれになり、精神的にも、経済的にも苦痛を強いられる。また、本会が把握しているだけでも、島外で学ぶ学生が数十名いて、その中で分教室を望む未就学児が20名も及び、この子達の将来を考えると、先行き不安である。」(親の会関係者より)
- ・「訪問教育を週3日しか受けることができず、満足のいく教育を受けさせてあげることができなかつた。」(訪問教育経験者)
- ・「社会的支援が不足し、地域の理解が得られていない様な現状である。」(療育研究会関係者)

水問題による要望書を提出



要望書を読み上げる 常 隆之議長

る西部地区の老朽管の敷設替え工事後に、東部地区も同様の工事が早期着工されること ②上質で安心・安全な飲料水の供給方策、管理マニュアルを基本とした管理の徹底や定期的なチェック機能の強化 ③新たな原水の確保(白井川・杉原川)を来年度以降の主な重要施策として取り組まれる旨の要望であります。

9月29日(水)に町長室において、常議長、伊藤副議長より大久保町長、中野副町長出席のもと平成22年第3回伊仙町定例会において原案可決された、水問題による調査報告書(総務文教厚生常任委員会提出)を添えて要望書を提出致しました。

要望書の内容は、主に第3回定例会の前日と会期中(9月6日・9日の調査状況は別頁参照)の2回にわたって総務文教厚生常任委員会を含む全議員が調査した結果を踏まえて、
①現在行われてい

この議会の要望に対して、大久保町長からは「早速、この要望書と調査報告書を基に、町民の皆様や島外から来られるお客様に、上質な水を提供できるように来年度以降の重要施策とすることを約束いたします。」と回答されました。また、中野副町長からも「先進地の管理マニュアルを収集してありますので、早速作成に入っている状況であります」との前向きな回答が得られました。最後に、常議長より「議会も町当局と同じ目標に向かって頑張っていけますので、町民の要望に応えられるよう一生懸命頑張ってください。」と期待の言葉を贈りました。

常任委員会 委員長報告

平成22年第3回伊仙町定例議会
「水問題調査に関する委員長報告」

(平成22年9月17日)

去る3月定例議会において

現地調査を行う前に、最

て、町内全域における水問

近における問題点を水道課
長から聴き取り調査による

目的とした、「水問題調査委

説明を受け、委員の意見を
聴取しました。

委員会に設置しました。順

課題として ①濁りがある
②臭いがある ③たまに異

を追って報告いたします。

まず、簡易水道・上水道
物がある ④たまに断水が

事業における浄水場の老朽

ある との町民からの苦情
が寄せられているとのこと

化と、原水、配水管の設備

であり、9月6日に町内そ
れぞれの浄水場や地下水、

等にも問題があるとのこと

で、去る9月6日と9月9
日の2日間にわたり、水問
題現地調査を実施いたしま

から流れる杉原川の原水の
調査を行い、今後西部方面

へ、総務文教厚生常任委員
をはじめとする他議員の出

席並びに、執行部側の全員
出席のもと、室内検討を目

への利用を早急に実施しな
ければならない旨説明を受

けました。

また、喜念浄水場が原水
管の破損で、休止状態であ

り、本川原水を調査した結

果、原水の給水が送水不能
状態で、早急な対策が必要

であることを確認しました。

さらに、全浄水場におい

て、雑草等や入口付近の整

備状況がなされていないた
め、午後から2班に分かれ

て、清掃活動を行い、2日

間にわたる現地調査活動を
終わりました。

以上の件をふまえて、本
日9月17日議会議場におい

て、総務文教厚生常任委員

をはじめとする他議員の出

席並びに、執行部側の全員
出席のもと、室内検討を目

的とした委員会を開催しま

した。

まず、水問題に対する抜
本的な対応策について、上

質で安心・安全な飲料水の

供給方策、管理マニュアル

を基本的な管理の徹底や
定期的なチェック機能の強

化等について質疑があり、

町長からは、新たな原水の

確保や多数ある浄水場の管
理等を踏まえた、来年度以

降の町政最重要施策とする

ことが答弁されました。ま

た担当課長より現在も行っ
ている月1回の水質調査も

(委員長 美島 盛秀)

9月6日調査実施行程表 坂水地下水（面縄）～上面縄浄水場～尺八浄水場～中部ダム～馬根原水～糸木名防災タンク～犬田布浄水場



上面縄浄水場において担当職員より説明を受ける。



尺八浄水場において濾過装置等の説明があった。



混々と湧き出る馬根原水



犬田布浄水場において町長も合流し現況調査

9月9日調査実施行程表 杉原川～喜念浄水場～喜念原水・午後より2班体制で各浄水場の清掃活動を実施



危険な箇所を手探りで辿り着いた杉原川原水



町内全域における早期の水質改善が望まれる。(喜念浄水場)



決壊されたと見える喜念原水



午後からは全議員が率先して浄水場の清掃活動

水問題現地調査状況

特別委員会 委員長報告

平成22年第3回伊仙町定例議会

「農業生産所得向上調査特別委員会委員長報告」

(平成22年9月17日)

農業生産所得向上調査特別委員会を平成22年第1回定例議会において、地方自治法第110条及び委員会条例第5条に基づき、農業所得向上に対する調査を目的に設置し、これについて調査報告いたします。

まず特別委員会では、委員会前の4月23日に「伊仙町農業振興計画」の合同説明会に各種団体や地域の農家を交えて出席し、そこで大久保町長より、農業生産額50億円に向けて「伊仙町農業振興計画」を発表いたしました。

要施策として、県が掲げた

農業振興の目標である農業生産の2割増に基づき、現在本町の農業生産販売額40億円の1.2倍の48億円から、目標値は50億円に設定することとし、主な方策として基幹品目のさとうきび・畜産・園芸野菜を中心に強化をすること。また新規作物導入により、農家所得を現在1戸平均1,569,000円のところを、約25%増の1,961,000円に増やす事が目標値として示された。

更なる目標達成に向けた基本方針として、農地の整備備事業の導入や、作物のブランド化、畜産の適宜拡大、アグリネット等を活用した農業経営に関わる生産計画と地産地消を推進するため「直売所百菜」を中心とした流通販売形態の構

築が重要である。

これらを具体的に協議するために、平成22年6月17日に第1回農業生産所得向上調査特別委員会を開催し、大久保町長をはじめ、各課長全員と担当課の経済課総勢で、伊仙町議会議場において異例の形で特別委員会を行い、環境保全型農業を推進した「伊仙町農業振興計画書」をもとに、担い手の技術指導の支援、土地改良事業等による土壌改良や、畜産排泄物のバイオマスエネルギーの活用、飼料の自給率を高める等の説明を受け、それに伴う質疑が各委員から出されました。委員会には、情報・知識の共有一体化を目的とするため、各課長ならびに経済課担当職員全員参加を求め、各委員からの伊仙町農業振興計画全体についての質疑がありました。これに対して、担当課長だけでなく、担当職員に直接答弁を受け、これに取り組み農家と行政をつなぐ職員の実態と熱意が直接見受けられ、大きな成果をもたらしました。また、

同日午前中には5月28日、30日にかけて行われた沖縄県での先進地調査報告会も中央公民館2階ホールで行い、多くの町民の方達へ情報共有できたことも当特別委員会にとっては大きな成果となりました。

以上の件を踏まえて、本日9月17日議会議場において、当特別委員会の調査の総括を目的とした特別委員会を委員並びに執行部側全員出席のもと開催いたしました。

その中で、農業生産額50億円達成に向けて、まず目標達成に向けた具体的な方策として、基幹品目である糖業・畜産・園芸の着実な生産額向上や、それに関わるデータの収集と分析、機械化をすることでの生産向上について質疑がありました。このことについて担当課長より、JA等による確実な統計データとさらに民間へ出荷されている生産量の把握を確実に、生産目標額達成の基礎データとする事が示されました。また他の新規作物につ

いても、生産者組織を強化し、新規就農者を積極的に取り込み、更なる所得向上に弾みをつける旨の意向も見受けられました。

他にも、農業の基礎となる土づくりや良質堆肥の生産、各品目に連動した施設の積極的な導入など、あらゆる目標達成に向けた要望が出されました。

以上を総括した結果、当特別委員会は、長期的な農業振興計画に沿った農業生産所得額50億円達成を目標に、これから本町が努力する姿勢と農家の皆様をはじめとする町民の皆様が、ますます一体化して実践に移すことを期待し、今後は経済建設常任委員会が調査等を引き続き行い、特別委員会としては、当初の目的を達成しましたので今回の報告をもって、「農業生産所得向上調査特別委員会」を解散致します。

(特別委員長 琉 理人)

9月13日調査実行程表 農高跡地ハウス～徳之島中央家畜市場建設地～三京の茶葉乾燥施設・ポタンボウフウ栽培圃場～農家宅(阿権)ゴマ調査・給食センターにて地産地消に関する試食会

農業生産所得向上調査状況



新規作物として期待される
コーヒー豆の苗



現在栽培中のまーざく
(ポタンボウフウ)の苗



来年3月までの完成に向けて
造成中のセリ市場建設地



まーざく(ポタンボウフウ)について
詳しい説明をする代表の豊村さん



ゴマ生産農家(阿権 貞さん)の
生産状況を聞く



普段の作業工程も見学させて
もらいました



給食を通しての地産地消の状況調査
(伊仙町学校給食センターにおいて)



調査当日の献立は麻婆豆腐と野菜と
春雨のサラダでした

平成22年度地域情報通信基盤整備推進 交付金事業（電気通信工事）始まる

平成22年第2回伊仙町議会臨時会において契約議決された、同事業の電気通信工事に伴う安全祈願祭が10月1日（金）に「ほーらい館」において行われました。施工者である株式会社九電工は、来年の3月末までに町内全域にIP告知放送と高速インターネットを行う為の整備を行います。

本町をはじめ、島内全域のインフラ整備が着実に進む事で、産業・経済格差がなくなっていくことが期待され、町民の皆様の生活基盤の向上に役立てて頂けたら幸いです。

（工事概要）

工事名称：平成22年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業（電気通信工事）

工事場所：大島郡伊仙町内

施工者：株式会社 九電工

主な概要： 情報センター（伊仙町役場付近）と各戸までを光ファイバーケーブルにて接続する^{*}FTTH方式とし、伊仙町全域にIP告知放送と高速インターネットの提供を目的とする。

※FTTH方式とは、光ファイバーを伝送路として一般個人宅へ直接引き込む、アクセス系光通信の網構成方式である。

工 期：平成22年8月10日～平成23年3月25日

請負契約額：一金 1, 253, 700, 000円也



関係者による安全祈願を目的とする神事が執り行われた

多発する交通事故に伊仙町議会が 事故防止に関する決議を可決

県下で、昨年中の交通事故による死者数が101人にのぼり、前年比+13人と大幅に増加している状況である。これらの死亡事故の主な原因として、高齢者が54人と全死者数の半数近くを占め、他にも安全確認等を怠った漫然運転が原因であると鹿児島県徳之島警察署が分析しています。また、伊仙町においては本年7月28日現在で事故発生件数が10件（前年比+2件）と町内においても予断を許さない状況であり、本町議会としても、町民の生命と安全を最優先に考え、以下の決議を可決いたしました。町民の皆さんをはじめ、島民の安全運転を心懸けるようよろしくお願い致します。

交通事故防止に関する決議（本文）

現下の交通情勢について、昨年、本県においては、交通事故死者数が前年より13人多い101人で、増加数は全国でも上位に位置し、さらに発生件数及び負傷者とも増加するなど危機的な状況でありました。

伊仙町におきましても、本年7月28日現在における交通人身事故の発生件数は10件で、昨年比+2件と増加傾向で推移しており、重大事故に発展するおそれのある交通人身事故が多発するなど憂慮すべき状況にあります。

安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現することは、町民の負託を受けた我々の重大な任務であります。

交通死亡事故は、一瞬にして大切な命を奪い、その家族等や取り巻く知人・友人を深い悲しみに陥らせます。

このような町民を出さないためにも、町民と一体となった交通安全への取組が重要であります。

よって、本町議会は、町民の安全で安心な暮らしを守る立場から、「日本一交通事故の少ない街づくり」を目指し、警察や関係機関・団体と連携し、町民と一体となって交通死亡事故抑止に対する姿勢を明確に示すとともに、すべての町民が交通事故を起こさない、遭わないための防止策を積極的に推進することを決意するものであります。

以上、決議する。

平成22年9月7日

伊仙町議会

米軍基地徳之島移設反対に関する決議文を議会へ提出(伊仙町退職教職員会)



退職教職員会による決議文の朗読がされました。

化と徳之島」を未来の子供達に引き継ぐことを決意したものと なっています。これに対し常議長より「これから日米両政府の共同声明が発表された以上、最後まで議会と退職教職員会を初め、島民の皆さんと協力して断固反対の結束を固めて頑張っていきたい」とのあいさつを致しました。

去る7月7日に伊仙町退職教職員会(石原正誠会長を代表とする計3名)が来庁し、退職教職員会総会において決議された「米軍基地徳之島移設に反対する決議文」を常隆之議会議長に提出されました。主な決議内容として、徳之島への米軍基地移設反対は基より、沖縄県民の苦難を共有し、「軍事基地のない平和な徳之島」・「豊かな自然と文



日米共同声明後も、基地移設反対の民意を日米両政府に訴え続ける。

議 会 の う ご き

平成22年7月

- 7日 8月発行分 第1回議会広報編集委員会(議会委員会室)
- 9日 徳之島三乃町議会議員連絡協議会役員会(徳之島町)
- 14日 8月発行分 第2回議会広報編集委員会(議会委員会室)

- 9日 全員協議会(議会委員会室)
- 9日 議会広報編集委員会※5月号(議会委員会室)
- 20日 徳之島子牛セリ市再編整備事業説明会(天城町)
- 22日 第37回奄美群島さとうきび価格対策協議会総会(奄美市)
- 23日 平成22年度伊仙町こども議会(本会議場)
- 28日 8月発行分 第3回議会広報編集委員会(議会委員会室)
- 29日 平成23年度公立高等学校生徒募集定員策定等に関わる地区説明会(知名町)

8月

- 29日 常任委員長研修会(霧島市)
- 30日 第2回伊仙町臨時会告示
- 4日 新人議員研修会(県町村議会議長会)
- 6日 市町村政研修会(鹿児島市)
- 9日 第2回伊仙町臨時会

9月

- 9日 徳之島中央家畜市場起工式(天城町)
- 14日 障がい児に関する勉強会(本会議場)
- 20日 JAあまみ徳之島地区野菜部会総会(徳之島町)
- 25日 第3回伊仙町定例会告示
- 31日 第3回伊仙町定例会告示

7月

- 1日 議会運営委員会※第3回定例会に伴う(議会委員会室)
- 2日 議会広報研修会(鹿児島市)
- 6日 第1回水問題調査(町内全域)
- 7日 第3回伊仙町定例会(本会議場)
- 9日 第2回水問題調査及び各浄水場清掃(町内全域)
- 13日 農業生産所得向上調査(島内全域)
- 21日 光ファイバー敷設に伴う第1回議会中継検討会(議長室)
- 27日 東京医労連OB会来庁(議会委員会室)
- 29日 水問題に関する要望書提出(町長室)
- 光ファイバー敷設に伴う第2回議会中継検討会(議長室)

※議会の動きは7月～9月末日までを掲載してあります。
※掲載されている議会の動き以外にも、各種広域議会や集落の催事等に各議員が出席しています。

第8回伊仙町

子ども議会開催される



身の引き締まる思いで任命証の交付を受ける生徒達。

毎年開催されている、「伊仙町子ども議会（主催・伊仙町教育委員会）」平成22年7月23日開催も今年で8回目を迎えました。

子ども議会は、伊仙町の将来を担う児童生徒が、自分が住む町の姿をよく見つけ、将来どのようにしたいのか、また議会制度を知ること、児童会・生徒会のリーダーとして自覚を高める事を目的とするものである。こうした中で、各学校の代表として選ばれた1日議員の子ども達が、亀山教育長より任命証を交付され、早速、町政発展の為にプロジェクトや手作

りの資料等を基に、町当局へ質問や要望を行いました。

（以下、一部質疑及び答弁内容抜粋）

Q 伊仙町の伊仙小及びほーらい館、伊仙町役場の地域一帯をポイ捨て禁止地域にしてほしい。

私たちは、4月7日から4ヶ月間毎朝かさざりゴミ拾いのボランティア活動をしています。役場コースとほーらい館コースに分かれて15分間全員で拾ってきました。そこで2つの事に気付きました。

1つはごみの量の多さ、2つめはごみの種類です。一番多いのはたばこの吸い殻です。毎日30〜40本落ちていきます。クリーン作戦やポスターなどで意識を高めようにも、参加しない人や意識の低い人には効果がありません。そこで、町の条例でこの地域一帯をポイ捨て禁止地域に指定して、ごみを捨てない美しい伊仙町づくりのモデルにしたらどうでしょうか。

A 質問にありましたように、ポイ捨ての量は多いです。これは役場周辺に限らず、実は伊仙町全体の問題です。

観光が主な産業である沖縄にお

いては、42市町村中13市町村が条例化しており、そのうち11市町村が何らかの罰則があるようです。しかし、罰則の適用例がなく、市町村が条例自体を空文化させる原因となっているようです。この件につきましては、前向きに条例化の方向で検討させていただきたいと思えます。また条例化するにあたっては、誰の目にも留まるよう考慮し、罰則は厳格に適用するべきだと考えています。

○本年の子ども議会後、第3回定例会において、「伊仙町ゴミポイ捨て及び飼養動物等のふん害防止に関する条例の制定」が制定されました。



手作りの説明資料で、具体的に訴えました。

編集後記

8月20日に障がい児に関する勉強会が開催され、障がい児を持つ家庭の現状を聞く事ができ、社会的な支援が必要であると、改めて感じました。

また会期中には、2日間に渡って町民に安心・安全な飲料水が供給できる様、新たな原水の調査を行いました。

これからも私達議会は、町政発展の為に鋭意努力したいと考えております。

また、今後も町民の皆様のご意見、ご要望をお寄せ頂き、活発な議会活動ができます様、ご協力をお願いいたします。

（文責・清水喜玖男）



常議長並びに広報編集委員による編集作業風景

議会広報編集委員会

- 委員長 美島 盛秀
- 副委員長 清水喜玖男
- 委員 琉 理人
- 委員 前 徹志
- 委員 伊藤 一弘